

さっぽろの  
**魅力創造人**

みりよくそうぞうにん

第3回

このページでは市内の施設や催しを支える方にインタビュー。働く姿や思いを通じて、札幌の魅力に迫ります。

定山溪ネイチャー・ルミナリエ  
実行委員長  
かながわ ひろゆき  
**金川浩幸さん**

定山溪観光協会の行事宣伝委員長を務める。定山溪神社にスノーキャンドルをともす催し「雪灯路」などにも携わっている。

自然と光が織り成す幻想的な空間を  
ゆつくり堪能してほしい

温泉街の散策路をイルミネーションで彩る催し「定山溪ネイチャー・ルミナリエ」。今年で3年目のこのイベントを立ち上げたのが金川さんだ。金川さんは家業の温泉宿で働く傍ら、観光協会にも所属している。多くのイベントを開催する中で生まれた「定山溪そのものが持つ自然の力強さや空気感を、もっと発信したい」という思いが、緑に囲まれた二見吊橋を中心としたネイチャー・ルミナリエ誕生につながったと語る。

このイベント最大の特徴は、空間に映像を投影するプロジェクト。照明がなく、昼にしか散策できなかった二見吊橋を、ただ照らすだけでなく、光に動きをつけて自然と融合させること

で楽しんでほしい」という金川さんの思いがこもっている。開催は約5カ月と長期にわたり、多くの方に楽しんでもらえる半面、細かな調整が欠かせない。「草木が少し伸びるだけで映像が違って見えてしまうので、頻繁に会場へと足を運んで確認する必要があるんです」と語る金川さん。苦労も多いが、「自然の中の光の美しさに感動した」という声が励みになるといふ。

「イベントがきっかけで、地元の人にも定山溪をさらに良くしようという意識が生まれている。それらが広がって、周辺がどんどん魅力的になっていくとうれしいです」——金川さんの熱い思いが詰まったイルミネーションが、今年も定山溪の夜を輝かせる。

金川さんが二見吊橋から見つめる先には、イベントのクライマックスの舞台となる渓谷が広がる。光が森や川から吊橋、空、渓谷へとダイナミックに移っていくことで、「星降る夜の森」を表現するという。

定山溪ネイチャー・ルミナリエ

日時・会場 6/1(金)～8/31(金)19時～21時、9/1(土)～10/21(日)18時～21時。定山溪二見公園～二見吊橋(南区定山溪温泉西4)

費用無料

交通機関 じょうてつバス定山溪線[快速7]に乗車、「定山溪湯の町」下車、徒歩3分

駐車場 50台(定山溪スポーツ公園公共駐車場)

申込 当日直接会場へ

詳細 定山溪観光協会 ☎598-2012

